

児童・青少年演劇ジャーナル

げき7

2009年
2月刊行!

編集・発行＝児童・青少年演劇ジャーナル(げき)編集委員会

定価●1200円＋税

編集代表＝ふじたあさや

子どもと演劇のよりよい出会いを求めて――

- 演劇鑑賞は子どもの何を育てるの？―演劇鑑賞の意義をさまざまな角度から追及。児童・青少年演劇の歴史・広がりを検証。
- いま、どんな劇を子どもに見せればいいのか？―児童・青少年演劇評、新作紹介、劇団紹介、子どものための劇戯曲掲載。
- 地域の文化活動全体をどう育てたらいいのだろうか？―地域の問題、先進的な試み、海外の事例などを紹介。
- 児童・青少年演劇演劇創造の課題は何だろう？―演劇創造のための誌上ワークショップや提言を掲載。

演劇教育への私の関心＝小川博久

【特集】岸田今日子と「円・こどもステージ」

＝小森美巳＋金田明夫 [聞き手・構成] 小川信夫 [解説] ふじたあさや

【講演記録と報告】児演協 人材育成講座

学校で劇を上演することの意味(続)＝ふじたあさや

モデル公演を上演して＝プレジャーB

【報告】児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ②＝小林由利子

【劇と批評】“批評対話”の実際＝松本則子

【論考】ドラマ教育の展望＝渡部 淳

【初日拝見】劇団ボプラ『火垂るの墓』

【劇団訪問】■ガイ氏即興人形劇場(東京)

■人形劇団むすび座(愛知)

【劇評】児童・青少年演劇の舞台から

関 明 ひとみ座・風の子東北のひとり芝居

蒔田敏雄 劇団ボプラ『火垂るの墓』

岩崎 明 劇団たんぽぽ『長い長い郵便屋さんの話』

安住恭子 競い合い、高めあう活力―東海地区の舞台から

神澤和明 関西芸術座『青い鳥』

土居安子 劇団コーロ『ハンナのかばん』

七字英輔 児童演劇2008年春夏の舞台から

第7号も

話題がいっぱい!

【連続座談会】第6回
「演劇教科書」
編集会議録
東京学芸大・和光高校の実践者が参加
＝中島裕昭＋高山昇
＋ふじたあさや

【インタビュー】自分史としての児童・青少年演劇6
劇と人形劇、二つの「京芸」の戦後史!
人形劇回京芸・代表 谷ひろしさん
劇団京芸・代表 藤沢 薫さん

【戯曲】劇団道化 上演台本

『知覧・青春―アイ・アム・ヒーロ!』

中村芳子＋篠崎省吾
＋鹿兒島の12人の青年たち

【講演記録】斎田喬戯曲賞受賞記念講演
今、逆風に向けて羽ばたく
＝さねとうあきら

【連載】表現教育の現場から(6)
街に根付く“クリエイティブ・ドラマ”
埼玉県所沢市「クリドラタウン」
＝西田豊子

【受賞おめでとう!】

■2007年度日本児童演劇協会賞■ 下山 久さん

【資料】日本全国/児童・青少年演劇劇団MAP

【資料】日本児童・青少年演劇劇団協同組合調査

児童・青少年演劇
都道府県別観客数調査から

【エッセイ】

カーテンコール

藤崎まさぎ/横山良介/島田静仁

【追悼】人形劇団ひとみ座石川嘉輝さん
＝森本真也子

【追悼】劇団風の子宮下雅己さん
＝仁木邦治

定期購読をお願いします!
定期購読の方には毎月郵送いたします。
1部あたり1000円(税・送料込)

- 本誌「げき」の刊行には、社団法人日本児童演劇協会、日本児童・青少年演劇劇団協同組合(児演協)、全国児童・青少年演劇協議会(全児演)の三団体が協同して取り組んでいます。
- 定期購読は下記の児演協事務局へお申し込みください。

●定期購読お申し込み・お問い合わせは――

児演協事務局 〒160-0023新宿区西新宿6-12-30芸能花伝舎2-4 TEL03-5909-3064 FAX03-5909-3065

発売・晩成書房 〒101-0064東京都千代田区猿楽町1-4-4 TEL03-3293-8348 FAX03-3293-8349 mail@bansei.co.jp

注文書

●お申込み先は
児演協事務局
FAX03-5909-3065

ご注文	●お申込先 児演協事務局 〒160-0023 新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎 2-4 FAX03-5909-3065	
冊	児童・青少年演劇ジャーナル げき7	2009年2月新刊! ●定価 1200円＋税
お名前・劇団名	住所 <input type="text"/> - <input type="text"/>	
劇団の場合 ご担当者名	メール <input type="text"/> @	
電話 ()	定期購読について <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない	
いづれかに○印をお願いします。		